

知ってる？  
中央区  
探訪

熊本城  
エリア

# 中央区パワースポットめぐり

まらわ  
見習い編集員の  
目 in

中央区の魅力的なスポットをテーマにあわせて訪ねる「中央区探訪」。今回のテーマはパワースポット。校区で「パワーをもらえる！」と噂の場所を、区民編集員養成講座のメンバーが取材しました。

慶徳・一新校区

940年余の歴史を持つ山崎の天神さん

山崎菅原神社

市民会館崇城大学ホールの隣に、ひっそりと佇む神社があるのをご存知だろうか？

ビルの間、木々に包まれるようにある、山崎菅原神社だ。菅原道真公をまつり、古くか

ら学問の神様「山崎の天神さん」として親しまれているという。一節によると、延久2年（1070）3月のある夜、菊池肥後守則隆公の夢に、菅原道真公が現れたことがきっかけで建立されたそう。

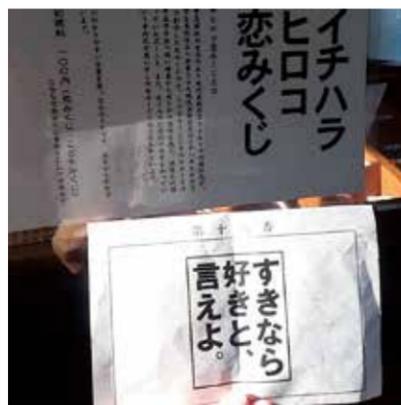
ただでさえパワーを感じる神社の境内で目に止まったのはおみくじ。現代美術作家のイチハラヒロコ氏の作品を恋みくじにしたものだ。おみくじに書かれているのはたった一言。ここから何かを感じるとのおみくじは、「言霊信仰」を彷彿とさせた。

道真公にあやかかって学問成就祈願をするもよし、言葉の力を信じて恋みくじをひくもよし。まずは、しっかりお参りして、この地の持つパワーを吸い込んでもらいたい。

（芥川 道子）



山崎菅原神社



恋みくじ

落ち枝も芳しく  
熊本の千年を見守る大楠

藤崎台のクスノキ群

藤崎台県営野球場の裏手に、

国指定の天然記念物になっているクスノキの大木群がある。この場所は、かつて、藤崎八幡宮があった場所で、境内にあった鎮守の森の名残なのだそう。この高台から、熊本の歴史をずっと見守ってきた、樹齢千年を超える大木はなんと、7本。遠くからでも目にとまるクスノキは、近づくにつれその大きさを増す。樹下に立つと、あ

まりの大きさに圧倒された。大きなものは根回り31メートル、幹囲12メートル、樹高28メートル。どっしりとした根と大きく広がる枝葉が、実に見事な樹形を作っている。

根本に落ちていた小枝を拾い、折ってみた。実にいい香りが立ち上った。そういえば、衣替えの頃に使う樟脳の元はこのクスノキだ。落ちた枝にも大木のパワーがまだ生きているのかもしれない。薫風の頃、またこの地にきて、風に騒ぐ葉音を聞いてみたいと思った。

（高野 眞理子）



藤崎台のクスノキ群



クスノキが描かれた商店のシャッター



取材の様子

